

## アンケート集計結果の公表について

日頃より、わかば保育園の運営に関しまして、多大なるご理解とご協力をありがとうございます。

またお忙しい中、令和7年2月に行われた『令和6年度 保護者アンケート』では保護者の方にご協力いただき、心から御礼申し上げます。

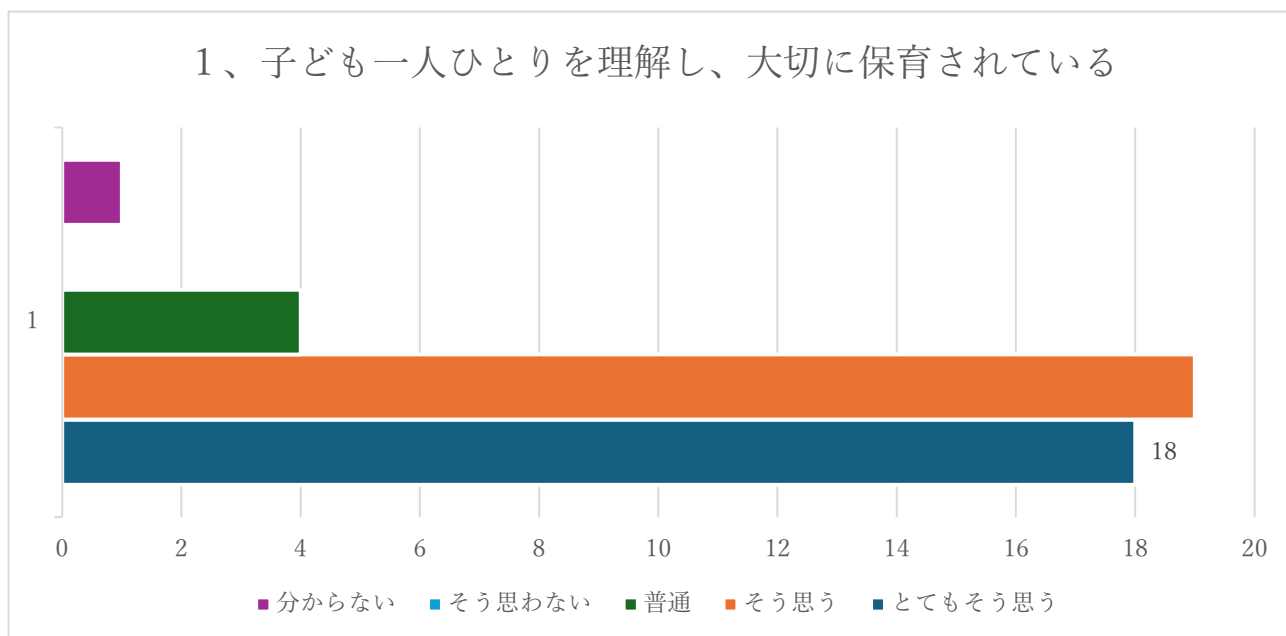
実施いたしましたアンケートの集計結果を公表させていただきます。

この集計結果を踏まえ、今後ともより安心・安全な保育園を目指してまいりたいと思います。

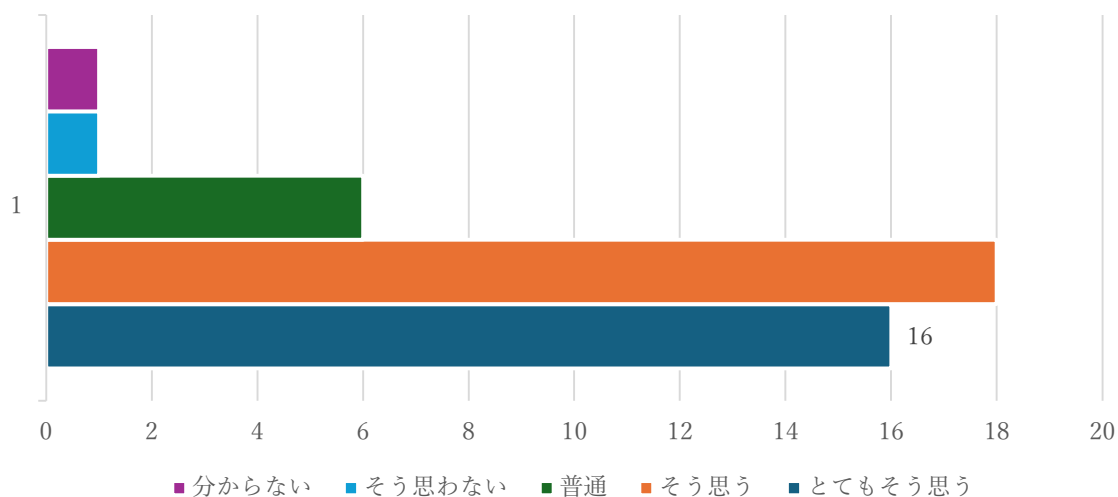
引き続き、ご理解とご協力の程お願いいたします。

【アンケート集計結果（プリント配布数：60 枚 回答数 42 枚）】

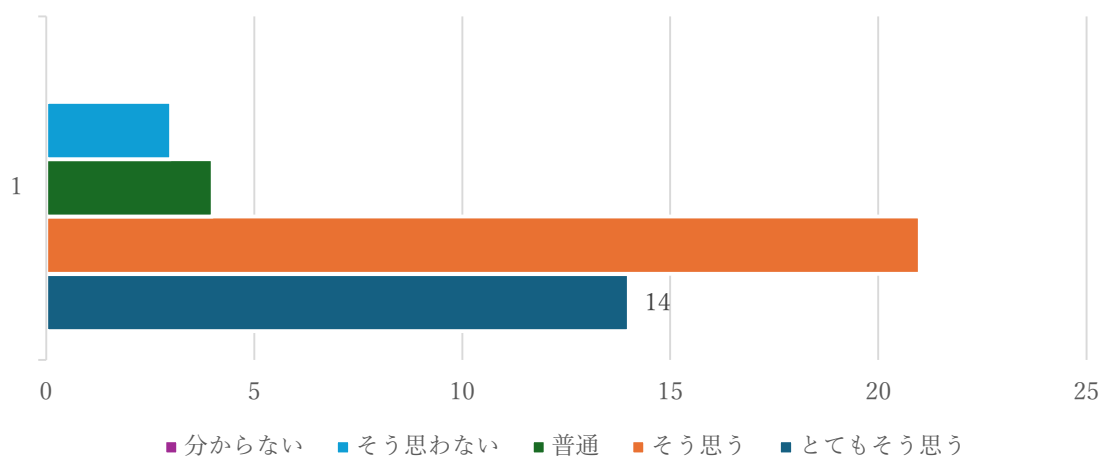
### 1.保育内容について



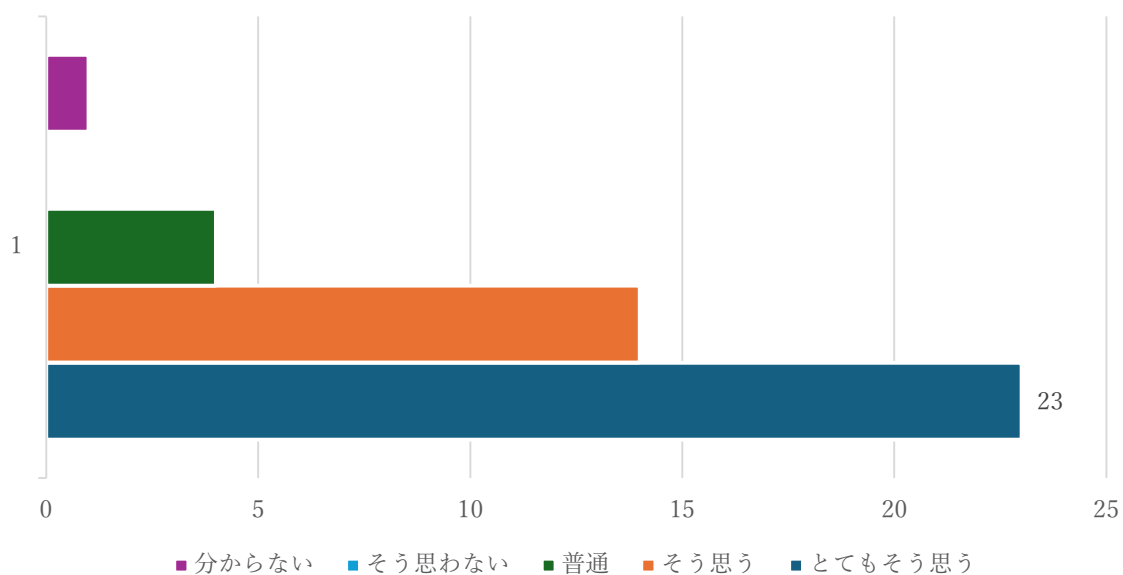
## 2、目標にそって発達に応じた保育がされている



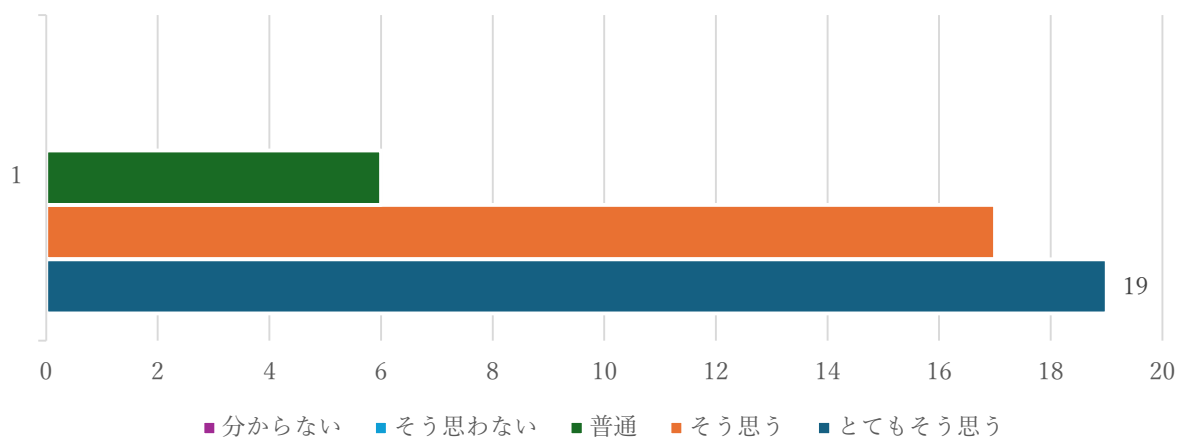
## 3、年齢に応じた食育への取り組みがされている



## 4、友達と仲良く遊んでいる

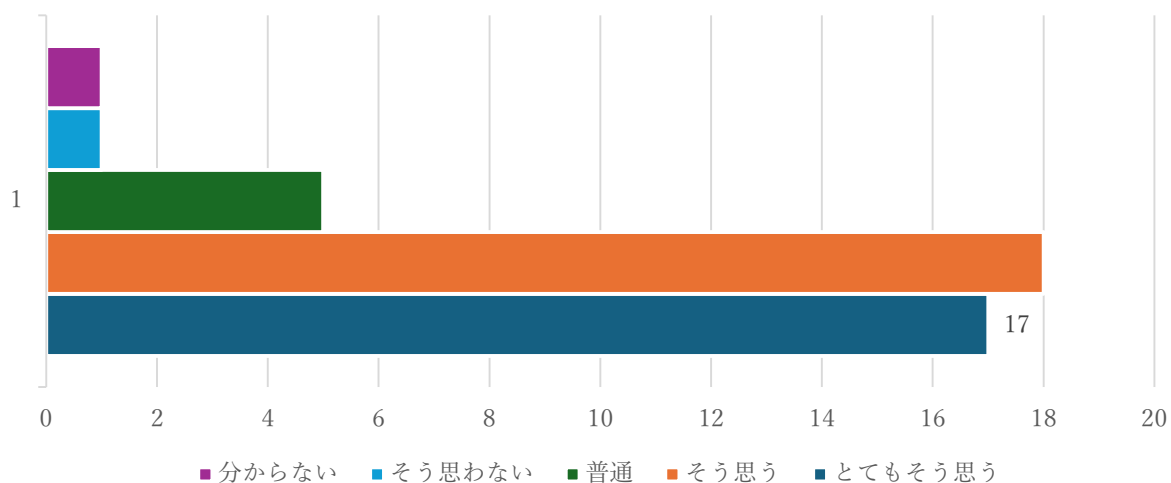


### 5、子どもたちが喜んで保育園に通っている

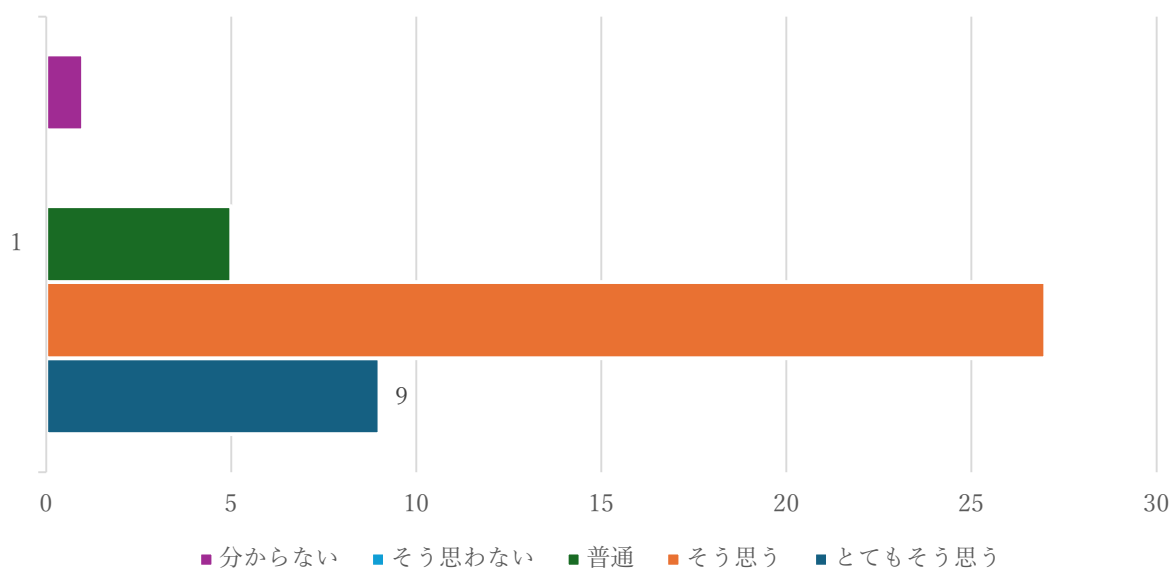


## 2.保護者の意見

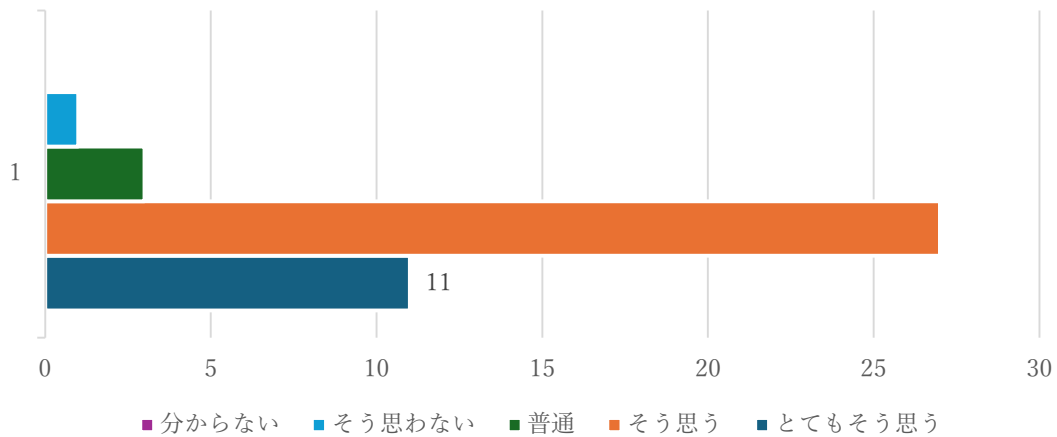
### 1、子育ての協力者や相談相手がいる



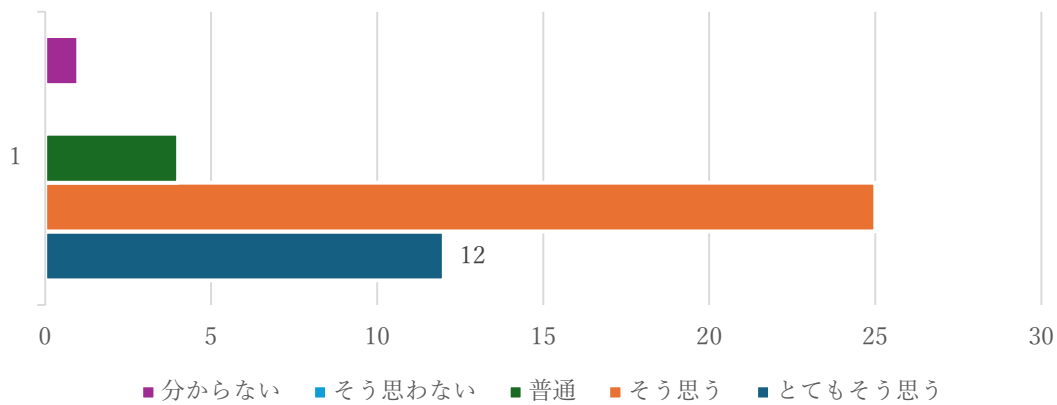
### 2、子育ては楽しい



### 3、挨拶や身の回りのことを 子ども自身でしてほしい

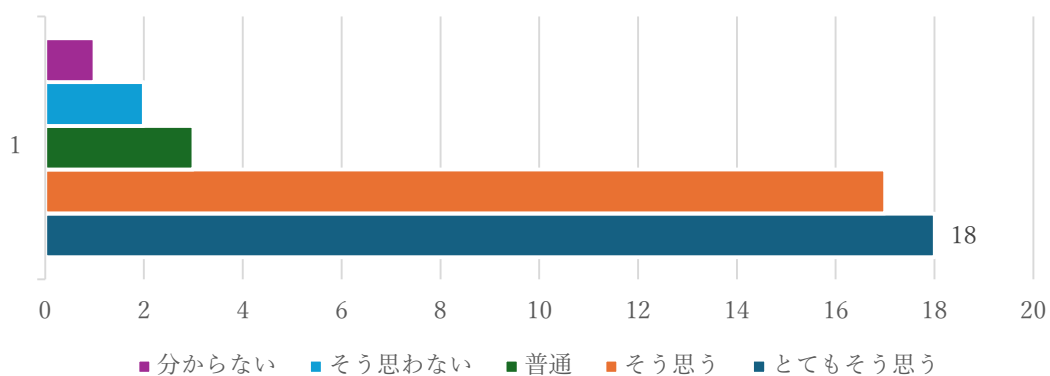


### 4、子どもとふれあいの時間を 大切にしている

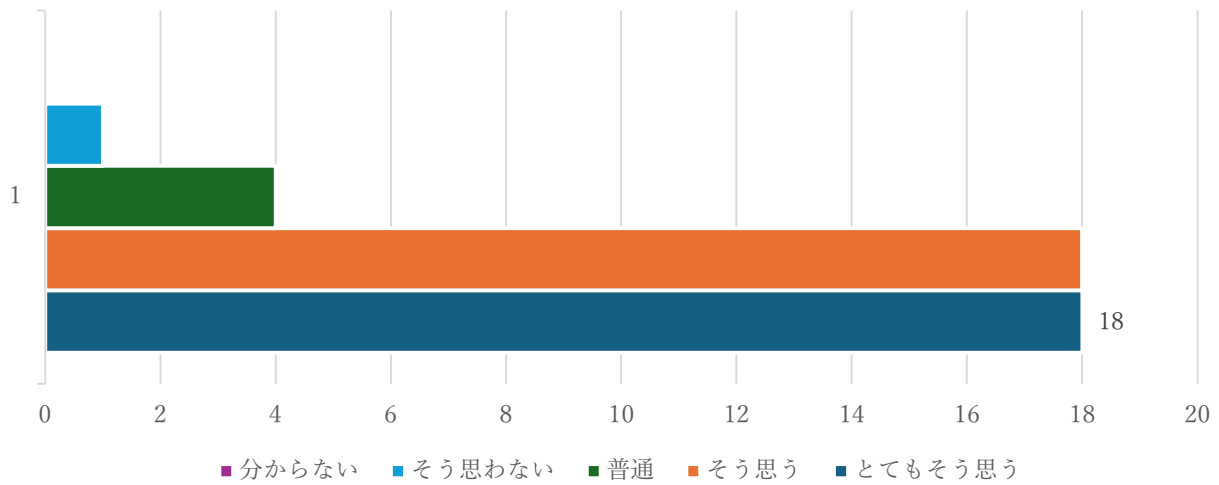


## 3.保育園運営について

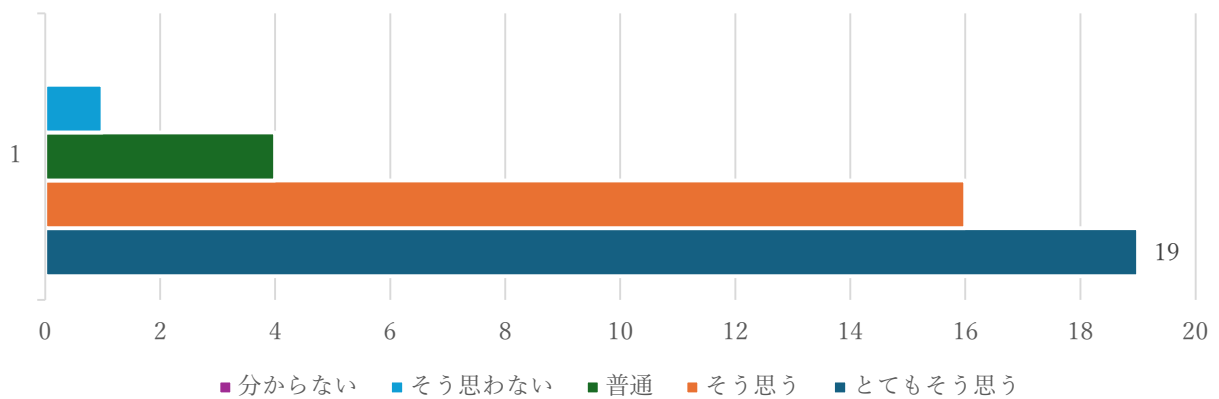
### 1、保育園でのケガや体調の 変化について、 適切に対応されている



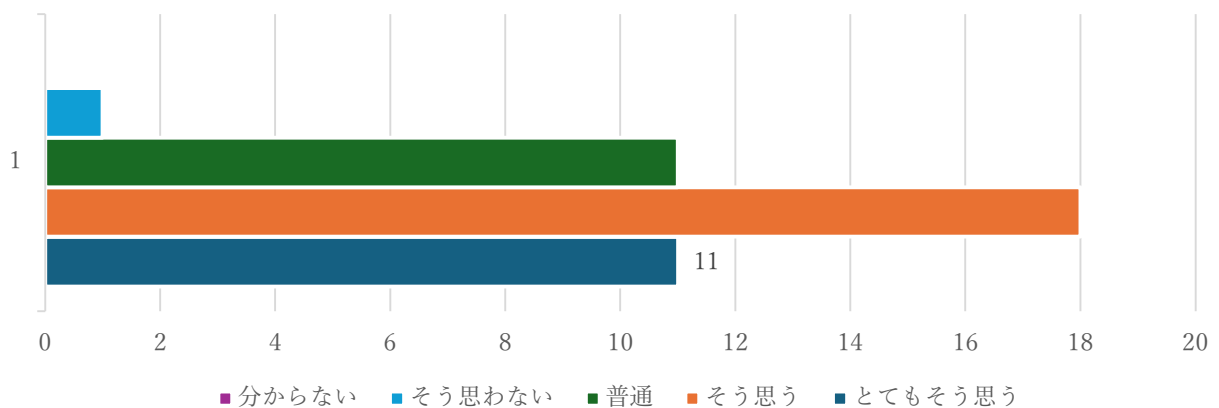
## 2, 職員から子どもの様子や 健康状態の声掛けがある



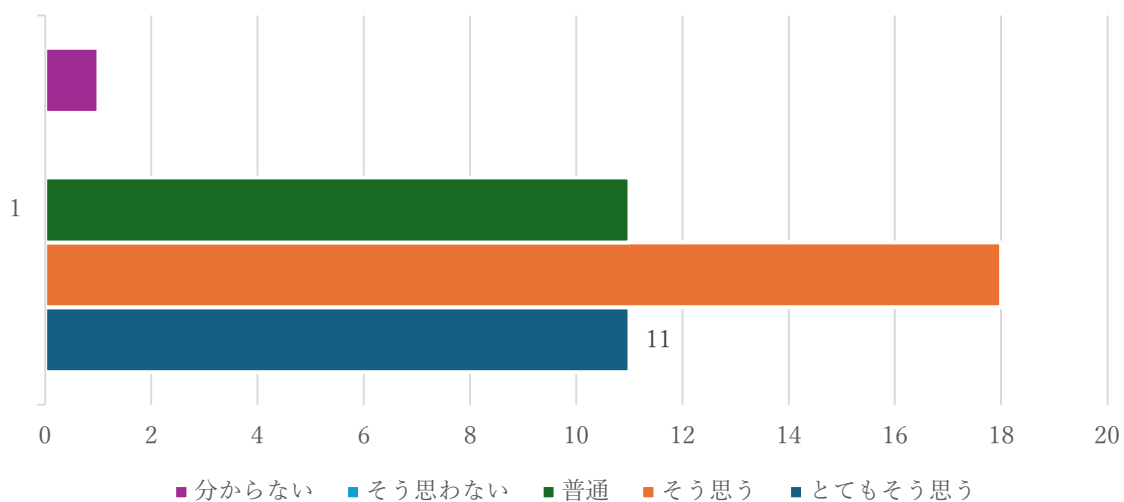
## 3, 子どもの気持ちや様子、 子育てについて職員と話したり 相談できる



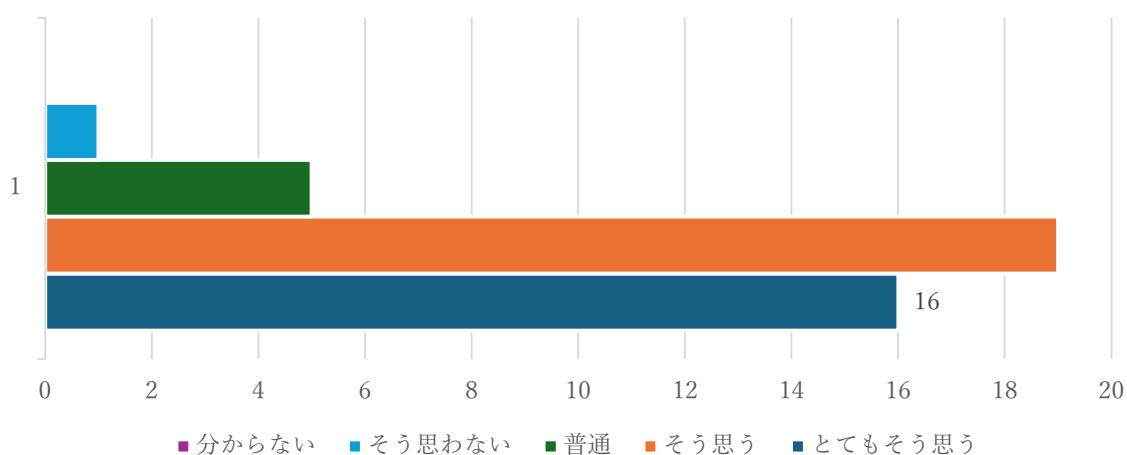
## 4, 保育園だよりなどの情報提供は わかりやすい



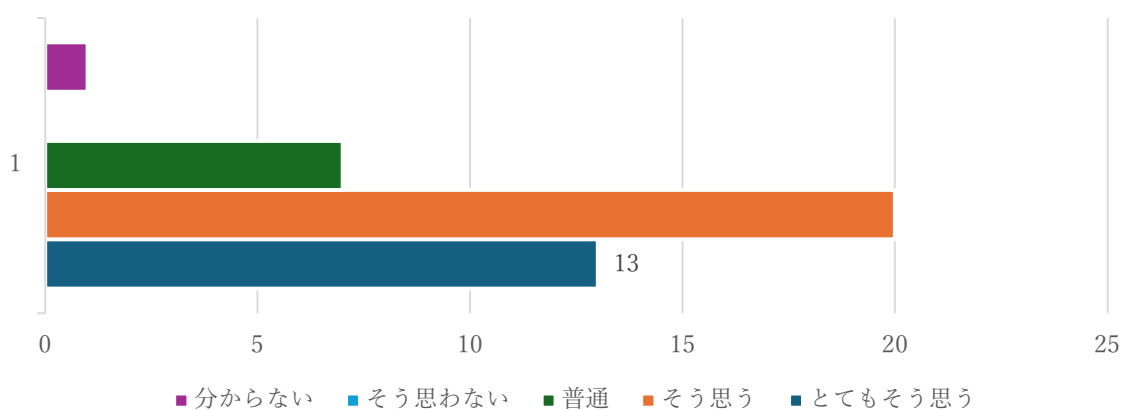
### 5、保育園の生活において 安全対策がとられている



### 6、職員は日常、 ていねいに対応している

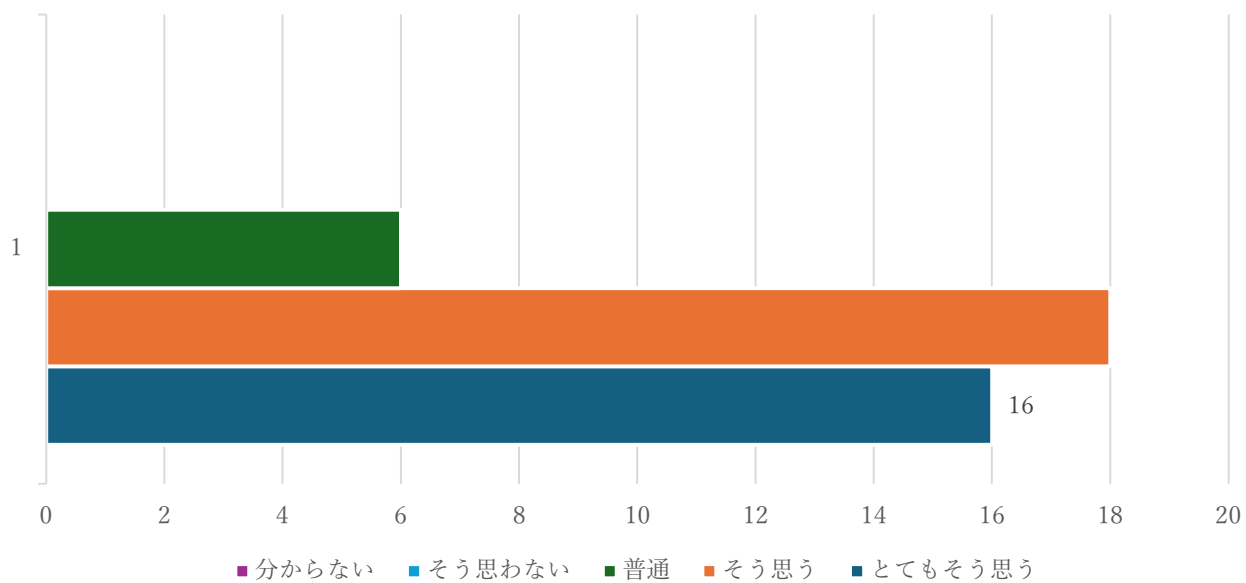


### 7、園児・保護者の プライバシーが守られている



## 【総合的な感想】

総合的に評価して満足している



## 令和6年度 社会福祉法人すこやか会 わかば保育園 自己評価（公表）

保育所保育指針では、保育所の社会的責任として、保護者や地域社会に対して「保育の内容を適切に説明するよう努めなければならない。」事が明記されています。上記方針に基づき、わかば保育園では自己評価を実施・公表しております。

評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供できるよう努力していきます。

### 〈評価について〉

評価をするにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する

※職員全体が行った自己評価を基に園の自己評価をしたものです。

### 保護者対応・コミュニケーション

1	家庭での保護者の子どもの様子を保護者から聞いている。	B
2	子どもの変化や出来事をできる限り保護者に伝えようとしている。	B
3	連絡帳を必ず読み、質問や要求にはすぐに返答している。	B
4	連絡帳には保護者からの一方的な伝達にならないように心掛けている。	B
5	保護者からの相談にはできるだけ時間を割き答えようとしている。	B
6	どの保護者にも子供のことについて話ができる。	B
7	保護者との接し方は平等になるように心掛けている。	A
8	ケガや事故の時は状況や原因などを細かく説明している。	B
9	保護者からの保育に対しての訴えや要望、意見を受け止めている。	B
10	「ようすをみましょう」と言ったら、その後定期的に連絡を取り合っている。	B
11	いつも声に出して明るい挨拶、明るい表情を心がけている。	B
12	保護者には丁寧な言葉で敬語を正しく使って話している。	A
13	他の保護者、子どもの批判を軽はずみにしない。	A
14	分からないこと、自分の判断では答えられない時は答えられないことを正直に伝え、上司に相談して返答している。	A
15	子どもが欠席した時に、電話を入れ、様子を聞くようにしている。	C



## 同僚、先輩、上司との連携

1	子どもの怪我は大小問わず必ず主任あるいは園長に報告している。	B
2	園長の外出先での連絡場所を確認している。	B
3	別な場面での子どもの様子をほかの保護者から聞いている。	B
4	気になることは何でも積極的に園長、主任、同僚などに相談している。	B
5	子どもへの対応や保育中の困ったことなどについて保育間で気軽に話し合っている。	A
6	急病で休む場合にも、他の保護者に保育計画や気になる子どもの様子などを伝えている。	C
7	自分の保育に対する問題意識を他の保育者に話している。	B
8	他の保育者の指導要録や指導計画などを見せてもらい、参考にしている。	B
9	子どもの家庭のプライバシーなど、業務上知りえたことを漏らさない。	A
10	クラスの様子や出来事を主任や園長に報告している。	B
11	自分で判断できないことは主任や園長に相談している。	A
12	自分の意見がある場合は、職員会議などで述べている。	C
13	他の保育者に自分のクラスの子どもの姿を聞くことがある。	B
14	研修で得た内容や成果を保育者に間で伝え合っている。	B
15	保護者や外部の人から伝言などを正確に他者に伝えている。	B

## 自分の保育姿勢

1	保育者としてふさわしい、正しい言葉を使うようにしている。	A
2	生活に必要な道具や教材を、子どもの使えるところに置いている。	B
3	子どもの興味を引く絵本や図鑑をいつも見られるところに置いている。	B
4	明日の保育を楽しみにしながら子どもの様子を予測している。	B
5	週や月ごとの生活や活動がどうなるか予測し、日々の保育の計画を立てて保育に臨んでいる。	B
6	子どもの理解に関する記録を具体的に残している。	B
7	研修や講習会などに参加している。	B
8	公開保育に参加したり、他園を見学するなど、色々な保育や保育感に出会っている。	C
9	保育の悩みや疑問を解決する為、保育書や専門書を読んでいる。	B
10	新聞、雑誌などの用事関連の記事にも常に関心を持っている。	A
11	保育要領を手元に置き、保育者に伝えられる。	C
12	園の教育目標や目指す子ども像を理解していて保護者に伝えられる。	B
13	園の目指す子どもの姿を実現する保育をしている。	B
14	「あなたはどんな保育感を持っていますか」と聞かれて答えられる。	B
15	園の方針を理解したうえで「こんなクラスにしたい」と保護者に言える。	C

## 子どものかわり・対応

1	子どもの顔色や表情から、体調や心の不安などを察知しようとしている。	A
2	子どもの表情、しぐさ、つぶやきなどを見逃さず受け止めている。	A
3	子どもの話を聞くと、視線を合わせて話している。	A
4	子どもとスキンシップをしている。	A
5	1日の終わりに、それぞれの子どもがしていたことを言える。	B
6	子どもの行動に対して、なぜそうするのか理由を考えている。	A
7	子どもの気持ちを一人ひとり考え対応している。	A
8	子どもの立場だったらどうするか、またどうしたいか常に考えている。	A
9	子どもの発見を素晴らしいと思い、感動することがある。	A
10	クラスのどの子どもとも、毎日必ず言葉を交わしている。	A
11	子どもの個性や特性に合わせた対応をしている。	B
12	子どもの家庭環境なども把握して対応している。	B
13	保育者の見えないところで遊んでいる子どもがいないよう見回っている。	A
14	子どもの姿をその場だけで判断せず、継続的に見て判断するよう心がけている。	A
15	この子はこうだと決めつけず、常に新しい面を発見しようと心がけている。	A

## 自己評価からみる今後の課題

※ 別紙 『令和6年度保護者アンケートの結果』 及び 『令和6年度 社会福祉法人すこやか会 わかば保育園 自己評価（公表）』 からみる今後の課題と取り組みを参照。

## 『令和 6 年度保護者アンケートの結果』及び『令和 6 年度 社会福祉法人すこやか会 わかば保育園自己評価（公表）』 からみる今後の課題と取り組み

保護者アンケートにおいては、前年度に比べても全体的に目標に対しておおむね達成できています。

自己評価に関しては、全体的に前年度よりやや低い数字となっておりますが、前年度に行ったアンケートの結果を基に自己への保育への取り組み方を顧みた結果評価が厳しくなったものと考えられます。共通して特に評価が高かったのは『子どもへのかかわり・対応』になります。『子供たちが喜んで保育園に通うことが出来ている』『友達と仲良く遊んでいる』の項目が高くなりました。

令和 5 年度のアンケートの結果を基に保育士各自で自己研鑽し、子どもたちが集団生活や食育への取り組みを積極的かつ適切に行うことができたということだと考えられます。

しかし、前年度より『子育ては楽しい』の『とてもそう思う』が占める部分がやや低い数字になりました。

今年度は保育士に対し、埼玉県が主催するキャリアアップ研修の保

護者支援等の研修を履修し保護者へのフィードバックを行ってきました。しかし結果から鑑みると、まだ力不足であるにとらえ、当園として今まで以上に保護者に寄り添える保育園を目指し、今後も課題として取り組んでいきたいと思います。